



竹爪 憲吾 議員

豪雨災害を受けて今後の河川管理は

〈町長〉

町管理河川、16 河川、63 箇所の被害箇所の早急な復旧を図っていく。

【Q1】 崩れた護岸の整備現状と今後の予定は。

【A1】 被災直後に大型土のうなどで仮復旧。護岸復旧の予定は、県管理河川は順次発注され、町管理では4河川の工事を発注済。これ以外の箇所も順次発注する。

【Q2】 川底に堆積した土砂の取り除きの予定は。

【A2】 県管理の二級河川では、県が実施箇所の選定作業を行っている。町管理の石風呂川や道上川などは応急浚渫作業を既に終わっている。

【Q3】 河川の氾濫に備えるために水位計や監視カメラ等の積極的な策を講じる予定は。

【A3】 二級河川の氾濫が予

想される箇所に水位計を設置するよう、県に要望している。

【Q4】 護岸整備の際、狭い川幅を広げる計画は。

【A4】 災害復旧の工事は、災害前の状態に戻す工事であるため難しい。

【Q5】 今後の対策として、災害時に対策本部となる庁舎付近の危険箇所の拡幅を早期に望むが。

【A5】 課題が多く、まず適切な維持管理に努める。

【Q6】 河川を監視するカメラの設置は。

【A6】 情報収集し、調査研究していく。

その他の町行政

豪雨災害支援金の使い道は

〈町長〉

用途を明確にするため、全額を「筆の里づくり基金」へ積み立て、住民による防災・減災の取り組みを加速させるような事業に活用する。

【Q1】 支援金の受付は、いつから始めて、どのように説明してきたのか。

【A1】 支援金の受付は「ふるさと納税」、「郵便局口座振込」、「支援金箱等への直接寄付」の3方法で行っている。「ふるさと納税」は7月9日、「郵便局口座」は7月18日に開設し、町ホームページへ掲載した。

【Q2】 支援金と義援金の違いが分かりにくい。義援金が被災者に届くには時間がかかると思っていたが、支援金より先に配分されたのはなぜか。

【A2】 義援金は現在第3回まで配分されている。支援金については災害弔慰金、見舞金として町の第1回支給分を8

月10日に支給した。支援金の額は、1月末現在9419万4216円で、全額を基金に積み立て、それぞれの施策に充当する。実際には被災者には早くから届けられた形になっている。

【Q3】 支援金の活用方針として、「被災者支援及び生活再建支援に資する事業」、「住民による防災・減災のまちづくりに資する事業」、「防災・減災対策ソフト事業」に充当することとしている。来年度以降も検証結果を踏まえ、災害に強いまちづくりの方向性に沿った施策を進めるために大切に活用する。

公共施設管理・整備

〈民法 正則 議員〉

東部地域防災センター建設計画の進捗状況は

〈町長〉

平成33年6月の開館に向け、設計業務の公募型建築プロポーザルを実施している。

【Q1】 東部地域健康センターに入浴設備があるが、新設する東部地域防災センターにも入浴設備を整備するのかが。

【A1】 長期避難生活に必要な不可欠な機能として、500人程度の収容を想定し、シャワー室を設置する。防災訓練、避難訓練等で使用するほかは、平時には使用しない方針である。

【Q2】 浴室を廃止した町民会館、浴室のある西部地域健康センターが区域内にあるくまのみらい交流館にもシャワー室を設置するのかが。

【A2】 中央地域及び西部地域の防災拠点施設として、両施設にもシャワー室を設置する方針である。

【Q3】 東公民館より大きい施設を計画しているが、今後の利用見込みによるものか、災害時を踏まえてのものか。

【A3】 東部地域防災センターから15キロメートル圏内の土砂災害警戒区域人口や昨年の豪雨時の避難率を基に施設規模を設定し、災害に備えることとした。

【Q4】 ペット同伴者用の機能を持たせるといことだが、動物が苦手、あるいは、動物アレルギーの避難者への配慮はどのようなのか。

【A4】 公募型建築プロポーザルにおいて、ペット同伴者に対応できる機能の提案も求めている。配慮するよう努める。

永年の功績により受賞！ ～自治功労者等表彰～

「平成30年度自治功労者等表彰式」が、2月21日にパルテ・ザ・スタイル・オブ・ウェディングで開催されました。本議会からは、町議会議員として永年にわたり在職し、地域振興と住民福祉の向上に貢献された山野 千佳子議員と久保岡 逸郎議員が、議員在職27年以上として、全国町村議会議長会会長から表彰を受けられました。受賞おめでとうございます。



山野千佳子議員



久保岡逸郎議員



全表彰者を代表して謝辞を述べられる山野議員

今月の表紙

「熊野ソフトボールスポーツ少年団」練習の様子（熊野第三小学校6年永谷歩夢くん）

現在、呉地区少年ソフトボール連盟に加盟しており、熊野第一小から第四小の4校全ての小学校から24名の子ども達が在籍し活動しています。土曜午前第四小、日曜午前第三小で練習をしています。更に、月曜と水曜は第三小でナイター練習も行い、日々練習に取り組んでいます。

ソフトボールを通じ、体力づくりや「あいさつ」などの礼儀も指導しています。県大会や中国大会に出場し、U-15日本代表にも選出されるなど、目標に向かって練習や試合を頑張っています。ぜひ見学や体験に参加してください。

保護者代表 染川 博昭
電話 854・2767